

小学校 第3学年「図画工作科」 シラバス

○ 図画工作科の領域構成

- ・ 表現
楽しい造形活動をする
絵や立体、つくりたいものをつくる
- ・ 鑑賞
関心を持って見る

○ 3年生の目標

□進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。

□材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。

□身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。

○ 評価の観点

①造形への関心・意欲・態度
自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。
→行動観察

②発想や構想の能力
感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。
→行動観察、作品

③創造的な技能
手や体全体の間隔を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。
→行動観察、作品

④鑑賞の能力
身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じ取ったりしている。
→行動観察、鑑賞カード

	学習する題材の名称	主な学習内容
前期	・よさを見つけて	・教科書をもとに、気づいたことなどを話し合い、1年間の図工の勉強の見直しを持ちます。
	・アートたんけんたい	・身の回りにある自然や人工物の見方を工夫して発表し、よさや面白さを味わいます。
	・形や色を楽しもう	・生活の中で目にする物の形や色のよさなどに気づき、そこから得たイメージを表現や鑑賞活動に生かします。
	・ざいりょうからひらめき	・身の回りにある材料を使って組み合わせながら、夢のある絵をかきます。
	・大すき自分の線と色 (ひとふでクレヨン カラーフル絵のぐ)	・線の形の面白さや色の響き合いを楽しみながら工夫して、絵をかきます。
	・切ってけずって	・粘土の切り方や削り方を工夫して想像した世界を作ります。
	・ふわりクルクル風パワー (風でダンシング) (あおいでダンシング)	・風の手で動くことから発想を広げ、風を受けやすくする仕組みを試しながら楽しい作品をつくります。
・ぞうけいずかん いっしょにあそぼう	・教科書を見ながら、自由にイメージを広げて想像する楽しさを体験したり、郷土玩具の写真をみながら形や色の面白さや地域の特色を味わったりします。	
・ふれあい活動啓発ポスター	・テーマに合った場面を思い浮かべ、文字や絵の構成を考えて、工夫してポスターに表します。	
後期	・あのときをわすれない	・心にのこった出来事を、そのときの気持ちや伝わるように絵に表します。
	・広がれつながれ (大空に広げて) (ふくらめモコモコ)	・ポリ袋をつないだり、かざったり、ふくらませたりしながら、思い付いたことを工夫してつくります。
	・クミクミックス (牛にゆうパックで)	・はさみやカッターナイフを使って牛乳パックを切り、それらの組合せ方を工夫して作品をつくります。
	・はんをつかって	・材料を生かして版をつくり、すり方を工夫したり、かき加えたりして、想像したことを紙版に表します。
	・トントンサクサク木の名人 (サクサク名人)	・小型を使う活動を楽しみながら、作り方を工夫して楽しいものを作ります。
・トントンサクサク木の名人 (トントン名人)	・金づちを使う活動を楽しみながら、木切れや枝を使って楽しいものを作ります。	